

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成19年1月25日(2007.1.25)

【公開番号】特開2001-150600(P2001-150600A)

【公開日】平成13年6月5日(2001.6.5)

【出願番号】特願平11-341065

【国際特許分類】

B 32B 27/00 (2006.01)

B 32B 27/32 (2006.01)

【F I】

B 32B 27/00 104

B 32B 27/32 C

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月30日(2006.11.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

融点が100以下であるポリオレフィン系樹脂(b)を含有する両表面層(S層)と少なくとも1層の内層(C層)と少なくとも1層の中間層(M層)とからなる少なくとも4層構成の多層フィルムであって、C層が、ビニル芳香族化合物ブロックと共にジエン化合物ブロックとからなるブロック共重合体の水素添加誘導体(a1)と、ポリプロピレン系樹脂、ポリエチレン系樹脂、ポリブテン-1系樹脂からなる群より選ばれる少なくとも1種の重合体(a2)を含有し、(a1):(a2)=95重量%:5重量%~5重量%:95重量%であり、かつ、(a1)の量が対全層で1~25重量%であり、M層が、密度が0.865~0.910g/cm³で、重量平均分子量(Mw)/数平均分子量(Mn)が3.0以下であるエチレン-オレフィン共重合体(m)を含有し、且つ、前記多層フィルムの、120(熱風、30分)における熱収縮率が縦方向及び横方向共に20%以上、90%以下であるストレッチシュリンク多層フィルム。

【請求項2】

S層がエチレン-酢酸ビニル共重合体であることを特徴とする請求項1記載のストレッチシュリンク多層フィルム

【請求項3】

M層がエチレン-オレフィン共重合体であることを特徴とする請求項1又は2記載のストレッチシュリンク多層フィルム

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

【課題を解決するための手段】

本発明のフィルムは、1)ポリオレフィン系樹脂(b)を含有する両表面層(S層)と少なくとも1層の内層(C層)と、少なくとも1層の中間層(M層)とからなる少なくとも4層構成の多層フィルムにおいて、C層が、ビニル芳香族化合物ブロックと共にジエン

化合物ブロックとからなるブロック共重合体の水素添加誘導体(a 1)と、ポリプロピレン系樹脂、ポリエチレン系樹脂、ポリブテン-1系樹脂からなる群より選ばれる少なくとも1種の重合体(a 2)を含有し、(a 1) : (a 2) = 95重量% : 5重量% ~ 5重量% : 95重量% であり、かつ、(a 1)の量が対全層で 1 ~ 25重量% であり、M層が、密度が 0.865 ~ 0.910 g / cm³ で、重量平均分子量(M_w) / 数平均分子量(M_n)が 3.0 以下であるエチレン・オレフィン共重合体(m)を含有し、且つ、前記多層フィルムの、120(熱風、30分)における熱収縮率が縦方向及び横方向共に 20% 以上、90% 以下であるストレッチシュリンク多層フィルム、

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

2) S層がエチレン・酢酸ビニル共重合体であることを特徴とする1)のストレッチシュリンク多層フィルム

3) M層がエチレン・オレフィン共重合体であることを特徴とする1)又は2)のストレッチシュリンク多層フィルム